

令和5年度「小・中学校ジョイントスクール推進事業」白銀中学校区実践計画書

事務局 八戸市立白銀小学校（担当：教頭 小田島 諭）

1 主題（10年次）

『自主的な生活・学習習慣の形成をめざす小中学校・家庭・地域連携のあり方』
～地域密着型教育とともに、個人の能力の向上、人と人とのふれあいを～

2 主題設定の理由

昨年度、白銀中学校区3校とも次の3点について共通して取り組み、以下の反省が出された。

□重点指導項目①：「気持ちのよいあいさつや返事、はきものをそろえることができる」

3校によるあいさつ運動の取組、民生委員児童委員協議会の協力によって、児童生徒のあいさつや返事は、年々よくなってきている。はきものをそろえるについては、意識は高まってきているが、さらに家庭や地域社会と情報を共有し連携した取組を推進することが望まれる。

□重点指導項目②：「家庭学習ができる」

昨年度から、家庭学習における共通実践として、項目を決めて取り組んでみた。それぞれの学校における課題が明確になり、次につながる実践となった。今後も、効果的な実践を共通して行うことにより、よりよい学習習慣の確立を目指すことが望まれる。

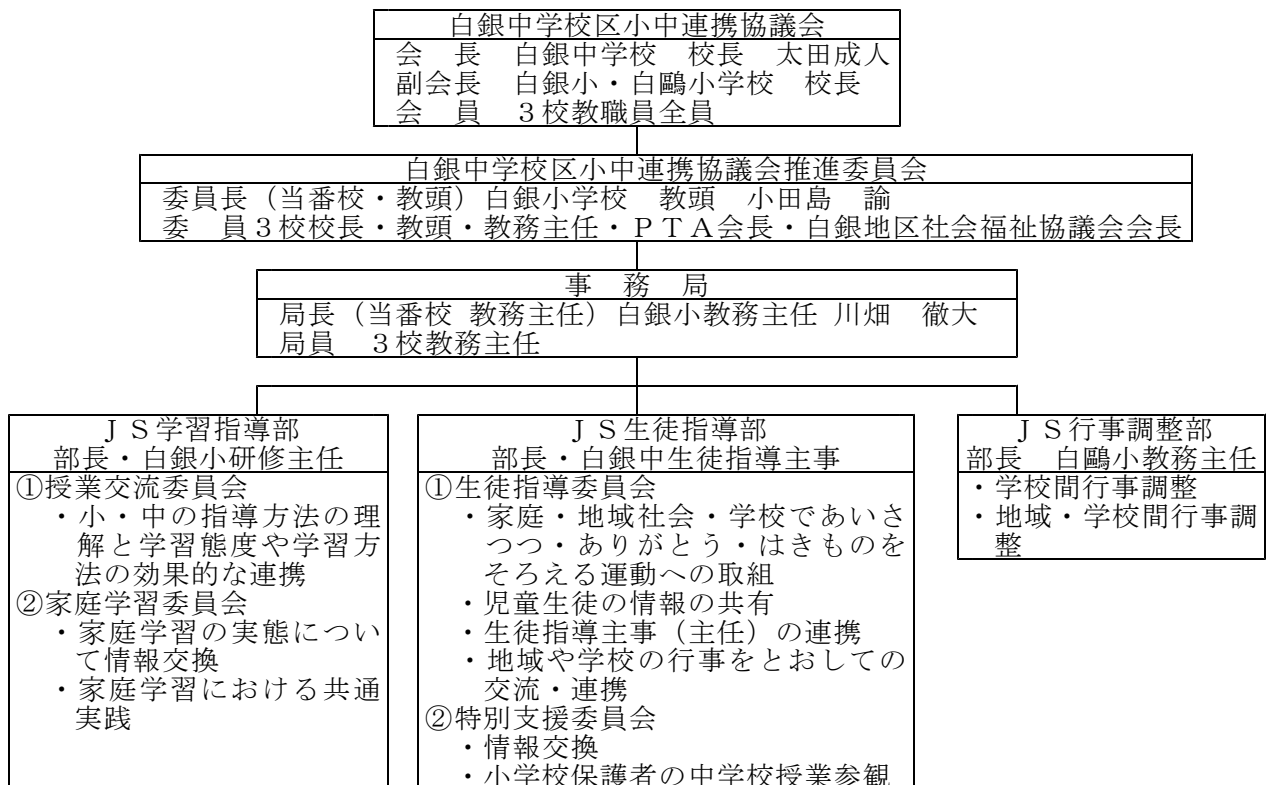
□重点指導項目③：「話をしっかりと聞き取り、はっきりと話すことができる」

学習指導部の授業交流委員会において、昨年度は重点的に「話す・聞く」を指導したことにより、各校の学校評価結果からも「しっかりと聞く」「はっきり話す」態度に向上が見られたことが分かった。今後も、自分の考えを伝えるために、考える時間や書く活動も取り入れながら「しっかりと聞く」「はっきり話す」ことを中心に、指導する必要がある。

また、「地域密着型教育」の地域学校連携協議会において、「地域ぐるみの教育活動を展開し、明るく活力のあるまちづくりに貢献する」、①あいさつ ②ありがとう ③はきものをそろえるの3つを家庭・地域社会・学校において実践することで「あいさつ・ありがとうがいつぱいの白銀まちづくり」に協力して取り組むこととする。さらに、小・中学校ジョイントスクール推進事業の組織と地域学校連携協議会の組織を完全一体型とし、「学校づくりの共有」と「まちづくりの共有」を連携しながら、進めることとする。

そこで、今年度も個人の能力の向上と、学校間・家庭・地域とのふれあいを『目指すべき二つの姿』とすることを踏まえ、主題を「自主的な生活・学習習慣の形成をめざす小中学校・家庭・地域連携のあり方」とする。生徒指導部では家庭・地域社会・学校と連携した「あいさつ・ありがとう・はきものをそろえる運動」の推進、学習指導部では、「聞き方」「伝え方」の指導と家庭学習における共通実践を行うこととする。授業交流委員会では、共通実践に向けて取り組むこととする。

3 小・中学校ジョイントスクール推進事業を推進するための組織



4 中学校区の重点指導項目

白銀中学校区 重点指導項目
・気持ちのよいあいさつや返事、はきものをそろえることができる。 ・家庭学習ができる。 ・話をしっかりと聞き取り、自分の考えを伝えることができる。

5 今年度の小中連携の具体的な計画

月	日（曜）	内 容	備 考
5	1 5（月）	J S 第 1 回推進委員会	白銀中学校
5	2 4（水）	J S 白銀中参観・J S 分科会 【第 1 回地域学校連携協議会】	白銀中学校
7	2 7（木）	J S 講演会	白銀小学校
1 1	6（月）	J S 第 2 回推進委員会	白銀中学校
1 1	1 5（水）	J S 白銀小参観・J S 分科会Ⅲ 【第 2 回地域学校連携協議会】	白銀小学校 白銀中学校
1	1 7（水）	J S 第 3 回推進委員会	白銀中学校
1	2 6（金）	【第 3 回地域学校連携協議会】 （3 校合同歓送迎会打合せ）	白銀中学校
2	上旬	中学校長講話	白銀小学校 白鷗小学校
3	下旬	小・中情報交換会	白銀中学校